

【大学間協定留学】 留学報告書

| 記入日 | 2025年1月30日 |
|--|---|
| 明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等 | 国際日本学部国際日本学科 |
| 留学(渡航)した時の学年 | 3年生 |
| 帰国年月日 | 2025年12月24日 |
| 明治大学卒業予定年月 | 2027年3月 |
| 留学先大学について | |
| 留学先国 | アメリカ |
| 留学先大学 | ノーザン州立大学(日本語名) Northern State University(現地言語名) |
| 現地使用言語/ 授業使用言語 | 英語/英語 |
| 留学期間 | 2025年8月～2025年12月 |
| 留学先大学で在籍した学年 | 3年生 |
| 留学先の所属学部等 | <input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他: |
| 形態 | <input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他: |
| 学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬 | 1 学期: 8月下旬～12月中旬 2 学期: 3 学期: 4 学期: |
| 学生数 | 約 3000 人 |
| 創立年 | 1901 年 |

| 留学費用 | | | |
|-------------------|---|-----------|---|
| 留学費用項目 | A 現地通貨 (ドル) (1 現地通貨 = 約 150 円) | B 日本円 | 備考 |
| 授業料 | 0 | 0 円 | |
| 宿舍費 | 2500ドル | 円 | |
| 食費 | 2000ドル | 円 | |
| 図書費 | 100ドル | 円 | |
| 学用品費 | | 円 | |
| 携帯・インターネット費 | 100ドル | 円 | |
| 現地交通費 | | 円 | (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車) |
| 教養娯楽費 | | 円 | |
| 旅費(留学中) | 1000ドル | 円 | ボストン、 |
| 被服費 | 100ドル | 円 | |
| 医療費 | | 円 | |
| 保険費 | | 50000 円 | 形態: |
| 渡航旅費 | | 410000 円 | |
| ビザ申請費 | | 80000 円 | |
| 雑費 | 50ドル | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| 合計 ※現地通貨 および 円 | 5750 (=890000 円) | 540000 円 | |
| 総計(A+B) ※円 | | 1430000 円 | |

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田空港 目的地：アバディーンリージョナル空港 経由地：ミネアポリス

復路 出発地：アバディーンリージョナル空港 目的地：羽田 経由地：ミネアポリス→ケプラヴィーク(観光)→ヘルシンキ

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社：
料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社：デルタ航空 料金：16 万円
復路 航空会社：デルタ航空、Iceland air、Fin air 料金：25 万円 ∴合計：41 万円

航空券購入方法

旅行代理店(店名：)

インターネット(サイト名：Skyscanner)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前：Great Plains East) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 3)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学からの斡旋

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

設備自体結構きれいなのでかなり良いです。基本 2 人か 3 人部屋なので、1 人部屋が良い人は別の寮をお勧めします。また、一階に唯一のコンビニがあるのでそこも便利な点です。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮を含め、大学の敷地内にはWi-Fiがあるので特に問題ないです。simのギガ数を10GBにしましたがもっと少なくても大丈夫そうです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金をいくらか空港で換金して持って行った。定期的に親が私の口座に送金してくれていた。自分はクレジットカード、デビットカードを使用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

なくて困ったものはそんなにはないですが、日本のお菓子など持って行っておくとよいです。私は煎餅や味付き海苔など持って行っていました。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

| | | |
|--|--|---|
| 1) 留学先で取得した単位数合計 | | 本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 |
| 12 単位 | | <input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:) |
| 2) 履修登録の時期・方法及び履修制限 | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった: | | |
| 3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。 | | |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | | 履修した授業科目名(日本語) |
| United History I | | アメリカ史 I |
| 科目設置学部・研究科 | HIST | |
| 履修期間 | 2025 秋 | |
| 単位数 | 3 | |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | |
| 授業形態 | 講義(チュートリアル、講義形式等) | |
| 授業時間数 | 1 週間に 50 分が 3 回 | |
| 担当教授 | Ric Dias | |
| 授業内容 | アメリカの成立から南北戦争頃 | |
| 試験・課題等 | 中間 2 回、期末 1 回のペーパーテスト | |
| 感想を自由記入 | この教授はとても留学生にフレンドリーな方で、留学生を誘ってホームパーティーを開いたりします。また、テスト前には授業のまとめ内容やテストに出る可能性のある論述問題を公開してくれるので対策もしやすいです。 | |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|--------------------|--|
| United History II | アメリカ史 II |
| 科目設置学部・研究科 | HIST |
| 履修期間 | 2025 秋 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 50 分が 3 回 |
| 担当教授 | Ric Dias |
| 授業内容 | 南北戦争から現代 |
| 試験・課題等 | 中間と期末でペーパーテスト、中間で課題図書を読みレポートを書く |
| 感想を自由記入 | こちらは課題図書のレポートがあります。それ以外はアメリカ史 I と進め方は一緒です。 |



| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|-----------------------------|--|
| Foundation of Communication | コミュニケーション基礎 |
| 科目設置学部・研究科 | CMST |
| 履修期間 | 2025 秋 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 75 分が 2 回 |
| 担当教授 | Tanya White |
| 授業内容 | 効果的なスピーチの仕方、実践 |
| 試験・課題等 | 小テスト、プレゼン 3 回 |
| 感想を自由記入 | 現地学生が多く、グループワークも多かった授業です。英語を使う機会がかなり多く大変でした。教授のサポートは手厚いです。 |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|-----------------------------|---|
| Intercultural Communication | 異文化コミュニケーション |
| 科目設置学部・研究科 | CMST |
| 履修期間 | 2025 秋 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1 週間に 75 分が 2 回 |
| 担当教授 | Tanya White |
| 授業内容 | 異文化間でのコミュニケーション、異文化理解 |
| 試験・課題等 | レポート、最終プレゼン |
| 感想を自由記入 | こちらは留学生が多い授業でした。難しめの授業として位置づけられているため、課題は多く大変でした。教授は優しくいろいろサポートしてくれます。 |

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

CFN、外資就活、One Career、i roots

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学中の就職活動はかなり大変です。時差があるため、面接等を行うのは深夜になることがほとんどです。しかし、現在留学をしているということは話のタネになるのでそこはよかったです。また、ボストンキャリアフォーラムという日本人留学生向けの就活イベントに参加できたのも良い点でした。早い期間からしっかり準備すればよい企業から内定をもらえるチャンスがあるので参加をお勧めします。日本で本選考を受けるより内定がとりやすいというケースもあります。私は1学期間の留学だったので就職活動への支障はそこまで大きくないと感じていますが、3年生からの留学で1年間の場合、かなり難しいと思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

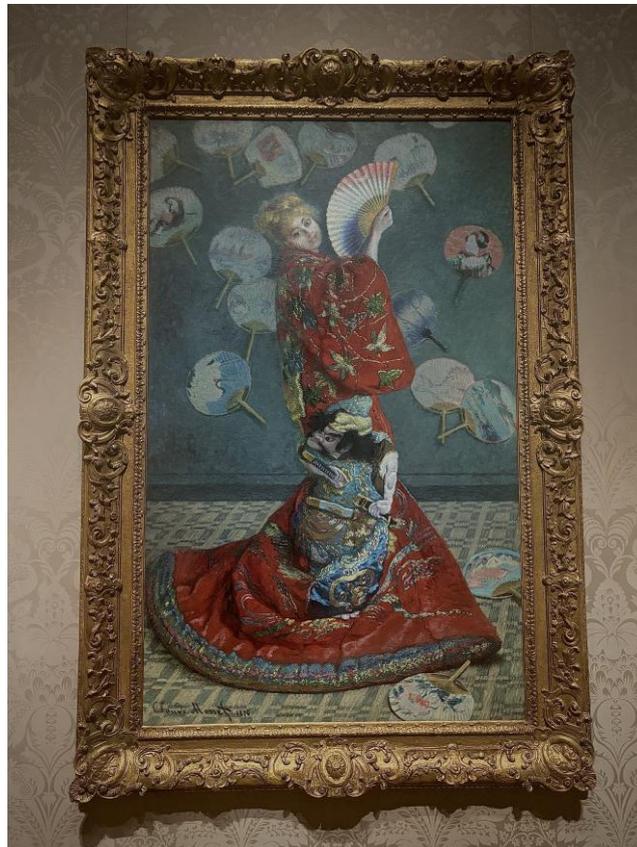
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

| | | |
|----------|---------|----------------------|
| 留学開始年の前年 | 1月～3月 | |
| | 4月～7月 | |
| | 8月～9月 | |
| | 10月～12月 | TOEFL 取得、選考、留学先決定 |
| 留学開始年 | 1月～3月 | |
| | 4月～7月 | 留学先大学へ出願、書類準備 |
| | 8月～9月 | ビザ取得、留学開始 |
| | 10月～12月 | 10月中旬に中間、12月上旬に期末、帰国 |
| 留学/帰国年 | 1月～3月 | |
| | 4月～7月 | |
| | 8月～9月 | |
| | 10月～12月 | |



留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私の場合、留学先の国や大学を選ぶうえで最も重視していたのは、「留学すること自体」でした。大学名や細かな条件よりも、海外で生活し、英語を使いながら学ぶ環境に身を置くことそのものが目標であり、正直に言えば、大学については深く考えていなかったです。

しかし、実際に留學生活を送る中で、結果的にこの大学を選んだことは自分にとって良い選択だったと感じています。学生数が多すぎず、授業内で発言する機会が多い点や、教員との距離が近い点は、英語力だけでなく主体性を鍛えるうえで大きな助けとなったとおもいます。また、日常生活でも現地の学生や留學生、地域の人と関わる機会が多く、教室外でも多くの学びを得ることができた点もよかったです。

大学自体は田舎にあるため、休日などにやれることは多くないです。その分自分のやるべきことをやる時間も確保できました。また、友人を作ることかなり重要だと思います。車が必須なので、車を持っている現地の友達がいるととても助かることが多いです。寮内や学校内でのイベントも多いので知り合いを増やす機会はかなりあると思います。実際に現地で英語を用いて過ごすことは簡単ではないですが、学べることも多いです。頑張ってください。

